

## 株主メモ

**事業年度** 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
**定時株主総会** 毎年6月中  
**株主確定基準日** 定時株主総会の議決権 3月31日  
 配当 3月31日  
 その他必要ある時は、あらかじめ公告いたします。

**公告方法** 当社公式WEBサイトに掲載します。  
 (http://www.dainichi-net.co.jp/)  
 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

**株主名簿管理人** 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
 みずほ信託銀行株式会社

お問い合わせ内容	お問い合わせ先	
	証券会社などに口座をお持ちの場合	特別口座の場合
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 氏名、住所などのご変更</li> <li>● 単元未満株式の買取・買増請求</li> <li>● 配当金の受取方法、振込先のご変更</li> </ul>	お取引のある証券会社などにお問い合わせください。	※みずほ信託銀行証券代行部にお問い合わせください。
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 郵便物の発送・返戻に関するお問い合わせ</li> <li>● 未払配当金に関するご照会</li> </ul>	※みずほ信託銀行証券代行部にお問い合わせください。	

※ みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 フリーダイヤル：0120-288-324 〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4

## 公式WEBサイトのご案内

公式WEBサイトでは「製品情報」や「お客様サポート」から「会社情報」までわかりやすくご案内しております。

また、株主・投資家の皆様には、当社をよりご理解いただくために、「株主・投資家情報」で決算短信や財務諸表など各種資料を掲載しております。

<http://www.dainichi-net.co.jp/>

ダイニチ 検索



**ダイニチ工業株式会社**

〒950-1295 新潟県新潟市南区北田中780番地6

## ダイニチ工業株式会社 株主通信

第54回 定時株主総会決議ご通知  
 第54期 期末のご報告(平成28年4月1日～平成29年3月31日)



【証券コード：5951】

## 第 54 回定時株主総会決議ご通知

平成 29 年 6 月 27 日開催の当社第 54 回定時株主総会におきまして、下記のとおり報告ならびに決議されましたのでご通知申し上げます。

記

**報告事項** 第 54 期 (平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで) 事業報告及び計算書類の内容報告の件  
本件は、上記の内容を報告いたしました。

**決議事項** 第 1 号議案 剰余金の処分の件  
本件は、原案のとおり承認可決されました。(期末配当金は、1 株につき 22 円)

### 第 2 号議案 定款一部変更の件

本件は、原案のとおり、法令に定める監査等委員である取締役の員数が欠けた場合に備えるため、補欠の監査等委員である取締役の選任の効力を 2 年とする旨の規定を新設することについて承認可決されました。

### 第 3 号議案 取締役(監査等委員である取締役を除く。)9 名選任の件

本件は、原案のとおり承認可決され、取締役(監査等委員である取締役を除く。)に吉井 久夫、酒井 春男、花野 哲行、田村 正裕、渡辺 美幸、荏原 裕行、小林 正志、原 信也の 8 氏が再選され、新たに吉井 唯氏が選任され、それぞれ就任いたしました。

### 第 4 号議案 監査等委員である取締役 3 名選任の件

本件は、原案のとおり承認可決され、監査等委員である取締役に丸山 三孝、田中 勝雄、宮島 道明の 3 氏が再選され、それぞれ就任いたしました。

### 第 5 号議案 補欠の監査等委員である取締役 1 名選任の件

本件は、原案のとおり承認可決され、補欠の監査等委員である取締役に渡辺 美幸氏が選任されました。

### 第 6 号議案 退任取締役に対する退職慰労金贈呈の件

本件は、原案のとおり、取締役を退任された佐藤 芳明氏に対し、在任中の功労に報いるため、当社の定める「役員退職慰労金支給内規」に基づき、相当額の範囲内で退職慰労金を贈呈することとし、その具体的金額、贈呈の時期、方法等は、取締役会に一任することについて承認可決されました。

以上

## 企業理念 - わが社の方針 -



新しく生み出す技術を核に  
役立つ商品を開発するとともに、  
販売して下さる小売店様を大切に、  
お客様には長く愛情を持って  
使い続けていただきたい。

こうした思いは、当社の全ての仕事を  
支える基本理念となっています。

## 目次

第 54 回定時株主総会決議ご通知	1	特集	
企業理念 - わが社の方針 -	2	加湿器累計生産台数 200 万台達成までのあゆみ	9
トップメッセージ	3	健康経営の推進	11
次期の見通し	4	ワーク・ライフ・バランスへの取り組み	12
お客様の生活を支えるダイニチのモノづくり	5	決算のご報告 / 会社概要 / 株式の状況	13
平成 28 年度のトピックス	7	株主メモ / 公式 WEB サイトのご案内	裏表紙

## Top Message トップメッセージ

株主の皆様におかれましては、平素より当社に対し格別のご厚情を賜り、誠にありがたくお礼申しあげます。

ここに、第54期事業年度（平成28年4月1日から平成29年3月31日まで）を終了いたしましたので、事業の概況ならびに決算の状況をご報告申しあげます。

当事業年度におけるわが国経済は、政府による経済政策や日銀の金融緩和を背景に一部に改善の遅れがみられるものの、企業収益や雇用情勢は緩やかな回復基調で推移いたしました。

しかしながら、アメリカの金融政策正常化や政策の動向による影響、中国をはじめとするアジア新興国や資源国経済の先行き、英国のEU離脱問題に伴う影響など、景気の先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

当社の主力分野であります石油暖房機器業界におきましては、石油輸出国機構（OPEC）とロシアなどの非加盟産油国による減産合意を受けて原油先物価格が上昇する一方で、昨年度発生したエルニーニョ現象による記録的な暖冬に対する反動増の影響があり、市場規模は前年に比べて拡大いたしました。

こうしたなかにおいて当社は、市場や住環境の変化に対応した商品開発に取り組んでまいりました。

暖房機器におきましては、日本国内の自社工場での生産による迅速な商品供給力と、安心して商品をお使いいただくための品質保証体制がお客様に評価され、業界内で確たる地位を築いております。

加湿器におきましては、運転音の静かさ、日本国内生産とそれに伴うアフターサービス体制をお客様に評価されて、平成15年に生産を開始してからの累計生産台数は200万台を超えました。

以上の結果、売上高は182億46百万円（前期比5.6%増）、営業利益は7億44百万円（同99.8%増）、経常利益は8億18百万円（同77.5%増）、当期純利益は4億60百万円（同122.0%増）となりました。

今後とも業績向上に向け、全力で取り組んでまいりますので、株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、お願い申しあげます。

平成29年6月 代表取締役社長 吉井 久夫



## 次期の見通し

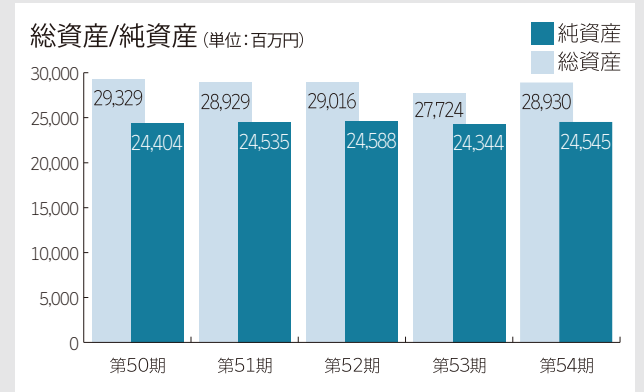
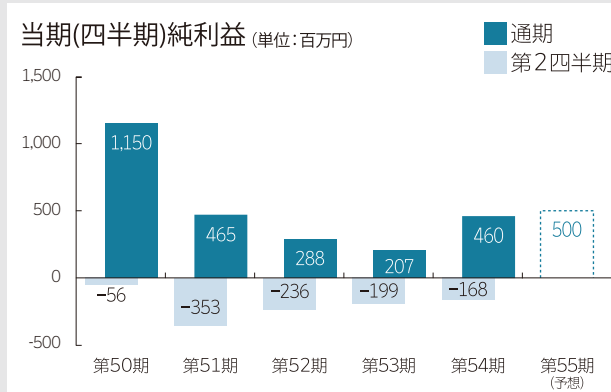
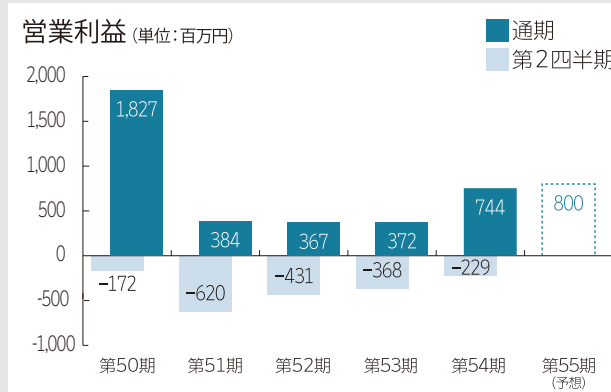
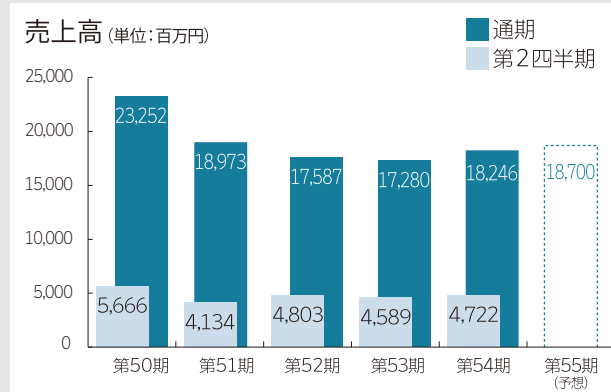
次期の見通しにつきましては、雇用・所得環境の改善が続かなかで、各種政策の効果もあって、景気は緩やかな回復に向かうことが期待されます。

また、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要があります。

このような環境のもとで当社といたしましては、お客様から信頼され支持されることを全ての活動の基本とし、品質と製品安全の確保を重視し重大製品事故を未然に防止する体制を継続することに努め、多様化するニーズに即した商品を提供してまいります。また、社内の合理化を進め経営体質改善の取り組みを継続してまいります。

これにより通期の業績見通しにつきましては、売上高187億円（前期比2.5%増）、営業利益8億円（同7.5%増）、経常利益8億円（同2.2%減）、当期純利益5億円（同8.7%増）を予定しております。

## 財務ハイライト



# お客様の生活を支えるダイニチのモノづくり

お客様から信頼され支持されることを全ての活動の基本とし、高い品質、使いやすく、便利な機能、安全性にこだわった製品を皆様にお届けしています。

## 暖房機器

売上高149億4百万円  
(前期比5.3%増)

### 家庭用石油ファンヒーター、セラミックファンヒーター

家庭用石油ファンヒーターは、最上位機種種のSDRタイプに除菌ステンレスフィルターを搭載して付加価値を高めた新商品を発売いたしました。この他、全9タイプ30機種の商品を発売し、売上は前年実績を上回りました。

また、静音性能を高めたセラミックファンヒーター2機種を新発売し、認知度向上のためのプロモーション活動などの販売活動に努めた結果、売上は前年実績を上回りました。



## 環境機器

売上高24億90百万円  
(前期比8.0%増)

### 加湿器

加湿器は、平成15年度に生産を開始し、累計生産台数は200万台を超えました。

当事業年度は、燃焼機器以外の事業で使用する新ブランド [Dainichi Plus (ダイニチプラス)] を立ち上げ、加湿器も [Dainichi Plus] 商品として3シリーズ16機種を発売しました。

豊富なラインナップの他、インフルエンザの早期流行に伴う需要の前倒しに対応した生産体制により、売上は前年実績を上回りました。



## その他

売上高8億52百万円  
(前期比4.5%増)

### 部品・コーヒーメーカー他

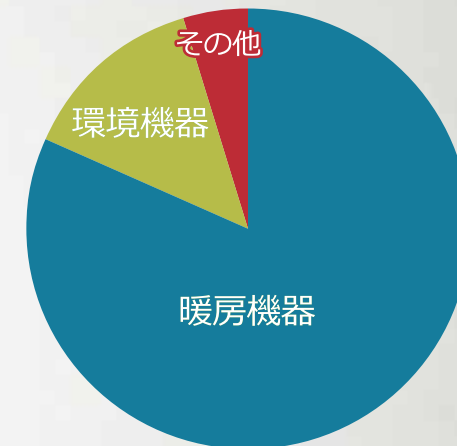
手軽に自家焙煎が楽しめるコーヒー機器は、愛好家や自家焙煎コーヒー店から評価され、堅実な販売を続けています。

また、家庭用石油ファンヒーター、加湿器の別売部品も堅調に推移しています。

別売部品・コーヒー機器はウェブサイトでの販売を行っており、メーカー運営の安心感や迅速な発送システム、送料無料などのサービスも売上の増加につながっております。



## ■主要品目別売上高と売上構成比



品目	売上高	売上構成比
暖房機器 (石油暖房機器・電気暖房機器)	149億 4百万円	81.7%
環境機器 (加湿器)	24億90百万円	13.6%
その他 (部品・コーヒーメーカー他)	8億52百万円	4.7%
合計	182億46百万円	100.0%

※1.平成19年度～平成28年度 年計(年度=4月1日～3月31日)メーカー別販売台数シェア(シェア数値/平成19年度=48.8%・平成20年度=59.1%・平成21年度=53.3%・平成22年度=49.3%・平成23年度=48.9%・平成24年度=49.9%・平成25年度=53.9%・平成26年度=52.6%・平成27年度=53.6%・平成28年度=52.4%) / 全国有力家電量販店の販売実績集計 / GfK Japan調べ  
 ※2.平成25年度～平成28年度 年計(年度=4月1日～3月31日)メーカー別数量・金額シェア(全国有力家電量販店の販売実績集計 / GfK Japan調べ)

# 平成 28 年度のトピックス

4月

## ハイブリッド式加湿器通年生産へ



加湿器の生産は 2 月中旬～ 5 月末までは停止しておりましたが、加湿器、また同ラインで生産しているセラミックファンヒーターの販売台数増加に伴い、通年生産を行うことになりました。

●中之口工場の加湿器生産ライン

8月

## ブルーヒーター平成 28 年モデル発売



除菌ステンレスフィルターを搭載した SDR タイプの他、全 9 タイプ 30 機種の商品を発売しました。

10月

## 加湿器累計生産台数 200 万台達成

平成 15 年度に発売を開始し、累計生産台数 200 万台を達成しました

詳細は 9-10P へ



●記念セレモニーの様子

12月

## 加湿器増産

インフルエンザの流行が例年よりも早かったことにより、需要が前倒しとなりました。そのため、12 月の生産を 3 割引き上げ、対応をおこないました。

2月

## 「グッド！スポーツカンパニー」県知事賞受賞

9 月に認定を受けた「グッド！スポーツカンパニー」において、新潟県知事賞を受賞いたしました。



●表彰式の様子

平成28年4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

7月

## ブルーヒーター 45 周年

昭和 46 年 7 月に「ブルーヒーター」というブランド名がつけられた「FM-2 型」が誕生してから 45 年を迎えました。

## コーポレートロゴリニューアル



創立 50 周年を経過し、次の 50 年に向け、伝統を継承しつつ常に進化を続けるという決意を表した、新しいロゴが誕生しました。

●ロゴのデザイナー・株式会社フレーム 石川 竜太代表(左)と取締役経営企画部長 吉井 唯(右)

9月

## 加湿器・セラミックファンヒーター平成 28 年モデル発売

加湿器は 3 シリーズ 16 機種、セラミックファンヒーターは 2 機種を発売しました。



## 「グッド！スポーツカンパニー」認定

「グッド！スポーツカンパニー」とは、新潟県が従業員のスポーツ活動を奨励している企業を認定しているものです。当社の運動会などの会社行事や毎朝のラジオ体操などの取り組みを評価していただきました。

詳細は 11-12P へ

11月

## コーヒーマーカー台湾へ輸出

台湾では近年、現地栽培されたコーヒー豆が注目を集め、コーヒーブームが起きており、6 年ぶりに台湾へ焙煎機能付きコーヒーマーカーの輸出を行いました。

3月

## 塗装ロボット入れ替え

22 年稼働した塗装ロボット「信長」と「秀吉」が引退となり、新塗装ロボット「希望(のぞみ)」と「翼(つばさ)」を導入。創業者の故佐々木 文雄の「機械も仲間。従業員同様に大切に扱うこと。」という思いを引き継ぎ、塗装課のメンバーが命名しました。



●最終稼働日の「信長」と塗装メンバー

# 特集 加湿器累計生産台数 200 万台達成までのあゆみ

加湿器は平成 15 年度に誕生し、平成 28 年 10 月に累計生産台数 200 万台を達成しました。

発売当初は、決して順調とは言えず軌道に乗るには少し時間がかかりましたが、ダイニチならではの「まじめなモノづくり」が功を奏して販売台数を大きく伸ばすことができました。

次は累計生産台数 300 万台を目指し、お客様にいつまでも愛されるよい商品を企画・開発してまいります。

## 新ブランド「Dainichi Plus」誕生



ダイニチの進化、発展をめざすという意志を込め、新ブランドで発売開始。



HD-5001誕生

大手量販店からの依頼により、HD-5001誕生。



HD-3001誕生

市場が成長。個室や寝室に使える 300 mL/h クラスのHD-3001誕生。



HD-9001誕生

大型ニーズに応じて 900mL/h クラスを投入。

500mL/hクラスをフルモデルチェンジ

お買い物支援サイト『価格.com』のプロダクトアワードで金賞を獲得しました。



RXシリーズ誕生

加湿器のもうひとつの柱と言える、RXシリーズ誕生。



RXシリーズに 700mL/hクラス投入

リビング向けに HD-RX709 が誕生。



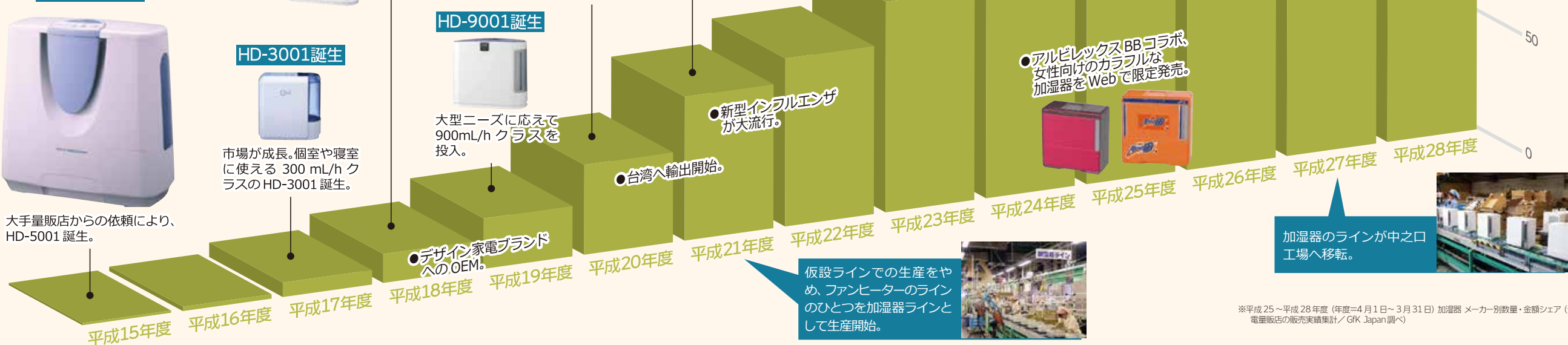
大型気化式タイプ、フィルター交換式タイプ登場

気化式に 500・700 mL/h クラスを投入。気化フィルター交換式タイプHD-F C500が誕生。

小型タイプの気化式加湿器、RXシリーズに 900mL/hクラス投入



200mL/h クラスの小型タイプの気化式加湿器が誕生。RXシリーズに 900mL/hクラスを投入。



累計生産台数 200万台達成

累計生産台数 150万台達成

累計生産台数 100万台達成



販売台数、金額ともにシェアNo.1に。

アルビレックスBBコラボ、女性向けのカラフルな加湿器をWebで限定発売。

新型インフルエンザが大流行。

台湾へ輸出開始。

デザイン家電ブランドへのOEM。

仮設ラインでの生産をやめ、ファンヒーターのラインのひとつを加湿器ラインとして生産開始。

加湿器のラインが中口工場へ移転。

※平成 25 ~ 平成 28 年度 (年度=4 月 1 日 ~ 3 月 31 日) 加湿器 メーカー別数量・金額シェア (全国有力家電量販店の販売実績集計 / GfK Japan 調べ)

## 特集 健康経営の推進

### 従業員が健康で幸せであることが大切。 従業員のスポーツ活動への奨励を行っています。

当社が社会に必要とされる存在であり続けるためには、従業員の心身の健康が不可欠と考えています。

これは、前会長で創業者の佐々木 文雄から続いており、従業員が心身ともに健康に生活し、仕事に取り組めるよう従業員の健康増進に積極的に取り組んでいます。

このような従業員のスポーツ活動への奨励が評価され、平成28年9月には、働く世代のスポーツ活動を促すことを目的として新潟県が行っている「グッド!スポーツカンパニー(新潟県スポーツ推進企業)」に認定され、平成29年2月には県知事賞を受賞いたしました。



## おもな活動

### 毎朝のラジオ体操の実施

体と脳を活性化させ1日快適に働けるよう、毎朝8:30から就業時間中に実施しています。



### 運動会の実施

昭和53年より開始し、今年度で37回目になりました。毎年、当社と協力工場の従業員約1,000名が参加します。



### 秋季健康づくり行事の実施

創業から約30年続いていた秋季健康づくり行事を平成27年秋に復活。就業時間に開催しています。



### 従業員のクラブ活動への支援

健康増進、相互親睦、趣味教養の向上が目的のクラブ活動へ、補助金を交付しています。



### 新入社員研修 30kmウォークの実施

体力・健康づくりの他、結束力の強化やリーダーシップを養うなどの目的で行っています。

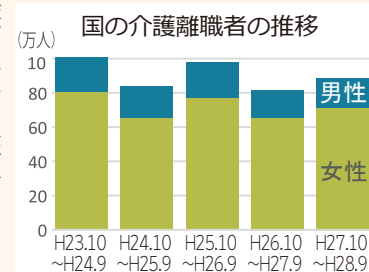


## 特集 ワーク・ライフ・バランスへの取り組み

### 介護に関わる制度を見直し、より働きやすい職場環境づくりを行っています。

総務省の平成25年就業構造基本調査(5年に1度実施)では、企業に雇用されながら介護をする人の割合は男女合計で約240万人いるとされています。

また、介護・看護のために離職した人は年間約10万人、このうち女性が約8割を占めています。



当社の従業員の平均年齢は38.8歳。子育て世代が多く働いています。また、育児を始める年代は同時に両親や親族の介護について考えなければいけない年代でもあります。

育児と違い、いつまでかかるかが見通せない介護。その負担を少しでも軽減できるよう、平成29年1月より施行された改定育児・介護休業法にあわせ、当社もより働きやすい職場環境づくりのための取り組みを積極的に行っております。

## ダイニチのおもな介護制度

### 介護休業制度

被介護人1人につき、のべ93日までの範囲内で3回まで取得可能。

介護休業① 介護休業② 介護休業③

介護休業①+②+③=93日まで

### 介護の対象者

配偶者、父母、子、配偶者の父母、  
祖父母、兄弟姉妹、孫



### 所定外労働の免除

介護終了まで所定外労働(残業など)を免除。

### 短時間勤務制度

介護休業とは別に、被介護人1人につき短時間勤務を期限や回数を定めずに利用可能。

就業時間は右のいずれかを選択できます。



(1)午前9時~午後4時 (2)午前9時~午後4時30分



POINT  
法律では、期限や回数の制限をしていますが、当社は利用しやすいように制限は設けていません。

### 年次介護休暇

被介護人1人につき5日/年度。(要介護者が2人以上の場合は10日。半日休暇可。)

## 決算のご報告

### 貸借対照表

(単位:千円/千円未満切捨)

	当事業年度 平成29年3月31日現在	前事業年度 平成28年3月31日現在
流動資産	21,765,426	20,086,336
固定資産	7,165,398	7,638,022
有形固定資産	5,735,482	6,350,161
無形固定資産	27,811	48,725
投資その他の資産	1,402,103	1,239,135
資産合計	28,930,824	27,724,358
流動負債	3,371,038	2,543,001
固定負債	1,014,677	837,043
負債合計	4,385,715	3,380,044
株主資本	24,125,503	24,053,720
評価・換算差額等	419,605	290,594
純資産合計	24,545,108	24,344,314
負債純資産合計	28,930,824	27,724,358

### キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円/千円未満切捨)

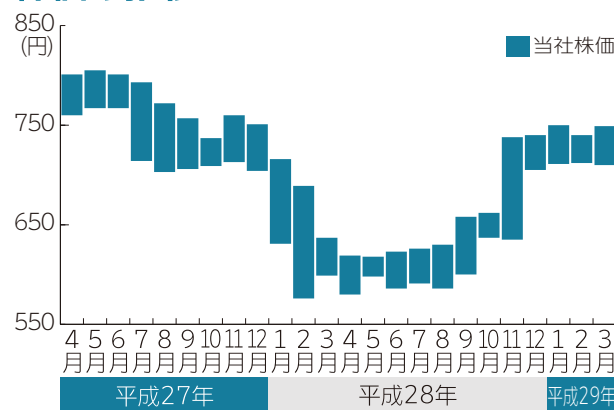
	当事業年度 平成29年3月31日	前事業年度 平成28年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,498,313	819,066
投資活動によるキャッシュ・フロー	△133,490	△604,828
財務活動によるキャッシュ・フロー	△388,600	△389,695
現金及び現金同等物に係る換算差額	△53	△826
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,976,168	△176,283
現金及び現金同等物の期首残高	11,895,475	12,071,759
現金及び現金同等物の期末残高	14,871,644	11,895,475

### 損益計算書

(単位:千円/千円未満切捨)

	当事業年度 平成29年3月31日	前事業年度 平成28年3月31日
売上高	18,246,454	17,280,402
売上原価	13,328,257	12,884,436
売上総利益	4,918,196	4,395,965
販売費及び一般管理費	4,173,849	4,023,360
営業利益	744,347	372,605
営業外収益	172,846	178,022
営業外費用	98,274	89,323
経常利益	818,919	461,303
特別利益	—	34,262
特別損失	52,310	95,517
税引前当期純利益	766,608	400,049
法人税、住民税及び事業税	141,100	21,500
法人税等調整額	164,668	170,921
当期純利益	460,840	207,627

### 株価の推移



## 会社概要 / 株式の状況

### 会社概要

平成29年3月31日現在

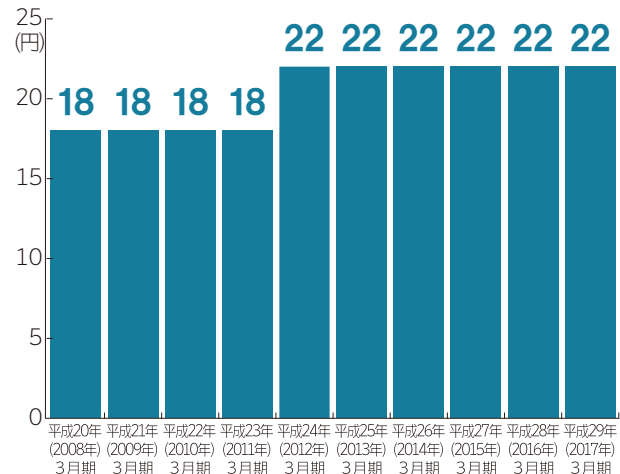
社名 ダイニチ工業株式会社  
 英文社名 Dainichi Co.,Ltd.  
 本社 〒950-1295  
 新潟県新潟市南区北田中 780 番地 6  
 設立 昭和 39 年4月1日  
 資本金 40 億 5,881 万円  
 従業員数 506 名

### 株式の状況

平成29年3月31日現在

発行可能株式総数 54,767,100 株  
 発行済株式の総数 19,058,587 株  
 株主数 4,008 名

### 1株当たりの配当金の推移



### 大株主(上位10位)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社ピー・エッチ	1,841	10.41
一般財団法人 佐々木環境技術振興財団	1,440	8.14
株式会社ダイニチビル	1,361	7.70
ダイニチ工業従業員持株会	1,038	5.87
株式会社第四銀行	850	4.81
吉井 久夫	570	3.23
吉井 久美子	556	3.15
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	492	2.79
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	392	2.22
渥美 るみ子	391	2.22

(注)当社は自己株式を 1,375,129 株保有しておりますが、上記の大株主からは除外しております。なお、持株比率は発行済株式の総数から自己株式を除いて計算しております。

### 所有者別株式比率

